きらりん　えがお　№１２

令和６年１０月１６日
平田幼稚園
園長　田中佳江

　ようやく暑さも和らいできました。子ども達も心地よい秋の園庭で存分に体を動かして遊んでいます。一方、朝夕が涼しくなって体調を崩しやすい時期です。降園後は体を休めたり、栄養をとったりして、元気に過ごせるようにしましょう。

『ちからいっぱいがんばるぞ　オリンピック運動会』楽しかったね！！

　前日まで雨模様で心配した天気も、みんなの願いが通じたのでしょう。日差しが戻り、５日（土）に運動会を行うことができました。今回の運動会は、おうちの人がたくさんに見来てくださるとあって、子ども達もとても張り切っていました。

　今回の運動会は、「パリオリンピックのようにしたい」「オリンピック選手のようにカッコよくなりたい」「楽しい遊びを競技にしたい」という子ども達の思いを、担任と子ども達で形にして創りあげてきました。オープニングのセーヌ川のような年長児の動きと旗、セーヌ川に浮かぶ船で手を振る年中・年少児。かけっこでは、走る姿や気持ちにそれぞれの学年の育ちが見られました。学年競技は、それぞれのクラスの体験や遊びから考えたり、作ったりしたもので、年少児はダンゴムシになり切って、年中児はカエルランドのイメージをもちながら、年長児はオリンピック選手のようにカッコよく、走ったりいろいろな動きをしたりしました。作り物にも趣向が凝らされていて「見ていて楽しかった」という感想をたくさんいただきました。年少児の玉入れは、４人という人数と、楽しみながら、という願いから、ゴビウスで体験した「魚のえさやり」が玉入れとなり、とても楽しそうでしたね。年長・年中児の綱引きは、本気モード！！手が真っ赤になるくらいの力を出し切って、チームで力を合わせる心地よさを味わっていました。親子競技は、どのクラスもおうちの人と手をつないだり、おんぶや抱っこをしてもらったりしている時の、子ども達の満面の笑顔が印象的でした。最終種目の年長児のリレーは、運動会のラストを飾るのにふさわしく、チームで気持ちを合わせ、自分の力を出し切って走り、次の友達を信頼してバトンを渡し、最後の最後まであきらめないで走りぬく年長児のたくましい姿に感動しました。ここまで来るのに様々な感情体験をし、チームで話し合ったり、自分で気持ちを切り替えたり・・・。まさに「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」の気持ちが育ちつつあるリレーでした。

　幼稚園という集団の中で、運動会に向かって一生懸命取り組み、当日の姿となったのですが、園だけではなく、ご家庭での支え（嬉しさや悔しさを受けとめてもらったり、体調管理をしたりしていただきました）があったからこそ、「力いっぱい頑張った満足感」「友達と一緒に走った楽しさ」にあふれた運動会になったと思います。本当にありがとうございました。また、ＰＴＡ役員・委員の皆様には、当時の準備・競技中の用具の出し入れや手伝いなど、本当にお世話になりました。

　来賓の方々が、今年度は最後の閉会式までいてくださいました。「どの競技も素晴らしくて、時間が経つのも忘れるくらいでした」というお褒めの感想をいただいたことを申し添えます。

土手すべり、すごいスピードだったよ！

　予定日の１０日は前日の雨で草が濡れていたので、１１日（金）に土手すべりに行きました。みんなそれぞれ家から素敵な段ボールを持ってきていて、朝からウキウキ！（段ボールの準備、お世話になりました）土手で、安全にすべって遊ぶ約束事をすると、さっそく段ボールに乗って「キャー」とすべり始めました。年長児はこれまでの経験からもう体重の乗せ方もわかっていてスピードに乗ったすべり。年中児は昨年の様子を思い出しながら、だんだん調子が出てきました。年少児はみんなの様子を見ながら、先生に押してもらって初すべり。途中から大きな段ボールが登場し、何人もで乗ってジェットコースターのようなスピード感・スリル感でした。面白いのですべっては段ボールをもって坂を上り、またすべり・・・。繰り返し繰り返し楽しみました。

園内オリエンテーリングをしました

秋の遠足は、毎年恒例になっている、『異年齢チームに分かれてポイントごとにクイズやゲームをしてご褒美シールをもらう』というオリエンテーリングをしています。いきなり園外でするのは難しいので、園内でオリエンテーリングをして遠足を迎えています。１０日（木）に園内オリエンテーリングを行いました。異年齢のペアチームを合わせて5～6人のチームができました。最初に担当職員から、「チームの仲間で動くこと」「それぞれのポイントでクリアしたらシールをもらうこと」「４つのポイント全部でシールをもらったら、最後に園長先生を探してご褒美シールをもらうこと」の約束事を聞き、首から下げるカードをもらって、いざ出発！！どのチームも、仲間が離れないようにしっかり手をつないで廊下を歩いていました。「最初に玉入れする？」「宝探し、しようよ」と年長児を中心に話し合ったり、時には早く次の場所へ行きたくて歩き出す年少児を追いかけたり・・・。異年齢のチームで動く楽しさや難しさを感じたようでした。

秋の遠足、楽しかったね

１５日（火）は、前日の雨が朝まで残り、実施するかどうかギリギリまで迷いました。ただ、延期してもその日が確実に晴れるとは限らないし、予報を見ると午前中は雨は降らなさそうだし・・・。こうしたことを考え、幼稚園に早めに帰ってお弁当とおやつを食べることにして、遠足を実施することにしました。保護者の方には、遠足と平常保育の両方の準備をしていただくことになりました。ご協力ありがとうございました。

９時３０分にバスに乗る頃には、なんと晴れ間が出てきて、子ども達も「やったー！」と大喜びでバスに乗って出かけました。斐川公園は遠足の場所としては初めてのところです。職員が下見に行って、分かれ道のところや危なそうなところに、「はいりません」と✕印をしたコーンを置き、安全配慮も十分に行いました。斐川公園に着くと、さっそく遠足チームに分かれます。先週園内で行ったオリエンテーリングのことを思い出し、年長児が率先して年下の友達の名前を呼んだり、手をつないだりして、チームリーダーぶりを発揮しました。ここでのミッションは4つ。『クイズ』『小人（モニュメント）を見つける』『展望台で「ヤッホー」と叫ぶ』『チームカラーの折り紙のハートを一人一個ずつ見つける（宝探し）』この4つをクリアしてシールをもらったら、長～い滑り台を滑って『園長先生を探せ』が最後のミッションです。探検地図をチームに１枚ずつもらい、カードを首からさげて、レッツ、ゴー！！チームによって動き方は様々でした。とにかく行ってみようと歩き出すチーム、まず地図を見てどこから行くか決めるチームなどがあり、個性が出てるなーと感心して見ていました。前回の宝さがしは、チームで一つの封筒を見つければよかったけれど、今回は隠されているチームカラーのハートの折り紙をみんなが一つずつ見つけなくてはなりません。結構時間がかかりました。なかなか見つからない子には手伝って探したりして、チームで力を合わせていましたよ。

時には、先を急いでしまうあまり手をつなぐのを忘れてバラバラになりそうになったり、滑り台を滑るのが怖い年少児がいることを先生から言われ、もう一度みんなで一緒に滑ったり・・・。急にはリーダーシップは育ちません。こうした異年齢活動をとおして、優しく手をつないだり、話を聞いてくれなくて困った思いをしたり、意見が合わなくてバラバラになったり・・・。でも、体験を繰り返していくうちに、少しずつ少しずつ育まれていっていると思います。年中・年少児も、年上の友達の話を聞くフォロワーシップが育っていくのだと思います。

最後は長い滑り台を「キャー！！」と歓声を上げながら滑り、「園長先生は？」「いないよ」「どこ？」と広場を探す子ども達。「あっ、見つけた！！」と現れたのはなんと、バンパイアのマントをかぶり、ハロウィンのカチューシャとステッキを持った人！！あまりのおかしさに笑い出す子や、びっくりして声が出ない子、マントに触りたくてくっついてくる子・・・いろいろでした。自分では上手く変装したつもりでしたが・・・。ご褒美のシールをもらうと、バスが迎えに来るまでの時間ギリギリまで、長い滑り台を繰り返し滑ったり、ロッククライミングに挑戦したりして、存分に楽しみました。

園に帰るとお弁当とおやつタイム。遊戯室でチームごとに仲良く美味しく食べました。

※保護者清掃活動、草取り週間、校務員さん・職員での草刈りでも追いつかない今年の草の勢いで、なかなか中庭までは手が回りませんでしたが、先日年長組の長岡さんが中庭の草刈りをしてくださいました。ありがとうございました。